

# リーダーたちの本棚

Leaders as Reader

企画・制作 朝日新聞社広告局 広告特集

## L 2020年までにクラウドでNo.1に

【率いる】 Leading

データベース管理ソフトなどのソフトウェア製品、サーバーやストレージなどのハードウェア製品を始め、ITシステムの構築に関する様々な事業を展開する日本オラクル。昨年社長に就任した杉原博茂さんは、新たな指針「VISION 2020」を掲げ、「2020年までにクラウドといえどオラクルと言われるようになる」と宣言した。同社の売上高の7割以上はソフト関連で、主力の製品を、インターネット経由の「クラウド」で使えるようにする。今年創業30周年を迎えた日本オラクルの業績は、いって好調だ。杉原さんは、オラクル創業者でCTO兼会長のラリー・エリソン氏から、「業績好調の中での大変革は、最も難しいミッション」と言われたという。

「ビジネス環境が激変する時代においては、旧来のビジネスモデルから脱却し、新たなビジネスモデルへの転換を図る必要があります。クラウドのメリットは多様です。サーバーの導入や管理にかかっていたコストが削減できるので、その分をイノベーションに振り分けることができる。大企業しか持てなかったITリソースを、中小企業も簡単にスピーディーに手にできる。日本で活用していたシステムを、海外でもすぐに使える。こうした特長を持つクラウドが、未来への躍進のカギを握ると考えています」

すでにオラクル製品のオンプレミス(ユーザーである企業が自社内に情報システムの設備を整え、管理・運用すること)の資産を持つ企業は、その資産を守りながらクラウドに移行できる。自社内のシステムとクラウドと連携させたハイブリッド環境を構築することも可能だ。

### 地域のクラウド導入を応援したい

「VISION 2020」では、「IT業界で最も称賛される企業になる」という目標を掲げた。「そのためには、常に成長し、常にイノベティブな企業であること。社員一人ひとりが自己実現できる職場であることが重要だと思っています」

今年6月には、クラウド市場でのシェア拡大における戦略「The Power of Cloud by Oracle」、略して「POCO」を発表。営業強化や地域拠点の拡充などを重点項目に挙げた。

「POCOの取り組みをわかりやすく言うと、「クラウドをより親しみやすく敷居の低いものにしていく」ということ。課題は、首都圏以外の販売です。クラウドの強みは、地域の商店が海外向けにネット販売したり、地域の中小企業がビッグデータを活用したりと、事業主の規模を問わず、攻めの経営ができること。当社のITインフラがチャレンジャーのきっかけとなり、日本企業の稼ぐ力につながればうれしい」

杉原さんが勤めた会社は、日本オラクルを含め日米合わせて7社。ストレージ、ネットワーク、サーバー、データベースなどITのあらゆる領域で働き、小さなベンチャーから世界トップの企業まで経験した。営業、開発、アカウントティング、ユーザーサポートなど、携わった業務も幅広い。

「実は、それぞれお客様が共通しており、現在も日本オラクルのテクノロジーを通じてつながっています。経験を総動員して、クラウドNo.1企業を目指します!」

■朝日新聞社広告局ウェブサイトでは、杉原博茂さんが語るリーダー論を紹介しています。  
<http://adv.asahi.com>  
朝日新聞 広告 検索



## 杉原博茂さん

日本オラクル 取締役 代表執行役 社長兼 CEO

1960年大阪府生まれ。1982年フォーバル入社。89年フォーバルアメリカンに入社。93年インターテック入社。2001年EMCジャパン入社。09年システムズ合同会社入社。10年日本ヒューレット・パッカード入社。13年オラクル・コーポレーション入社。14年4月日本オラクル代表取締役社長 兼 CEOに就任。同年6月から現職。

### 杉原博茂さんのおすすめ本棚

『項羽と劉邦』上・中・下巻 (新潮文庫) 司馬遷太郎・著  
始皇帝の死後、各地で反乱軍が蜂起した中国。乱世にて、ごろつき上りの劉邦が、楚の猛将・項羽と天下を争った末に漢帝国を樹立するまでの物語。

『得手に帆あげて』 (笠倉書房) 本田宗一郎・著  
本田技研工業創業者の本田宗一郎氏が、破天荒な幼少時代や技術者時代を振り返り、人生哲学を語り尽くす。政治学者・藤原弘達氏との対談も収録。

『下天は夢か』全4巻 (角川文庫) 津本陽一・著  
織田信長はいかにして近世への扉を押し開いたのか。その思考、行動に秘密なまでの分析を試みつつ壮大なスケールで信長を描ききった戦国小説の傑作。

『IBMの息子』上・下巻 (新潮社・品切れ中) トーマス・J・ワトソン・ジュニア著 高見浩一訳  
IBM創業者のジュニアが、自身の放浪時代や、軍隊での思い出、父との愛憎などを赤裸々につづる。IBMとアメリカのコンピューター産業の歴史も活写。

『英国海兵隊に学ぶ 最強組織のつくり方』 (かんき出版) 岩本仁・著  
権限委譲型の「ミッションコマンド」は、現在、NATO軍に加盟する先進国の軍隊で運用されているマネジメント手法。この手法をビジネスに応用する方法を解説。

われらの喜びとともに思い出します。やがて営業成績は向上し、その後、国際事業部を経て、アメリカ支社の立ち上げを任せられた。会社が投資していた超高速データ通信の技術の製品化と販売が目的で、最初は開発者の自宅のキッチンでオフィス代わりにしていました。現地の技術者を雇ってオフィスを構えると、開発計画などについて現地スタッフと折り合わないことが多く、本社からはそれを責められ、板挟みの状況に苦しみました。そんなある日、尊敬する現地の起業家から「本田宗一郎の本に影響を受けた」という話を聞き、「得手に帆あげて」を読みました。本田さんの情熱「ホンダイズム」がはたはる一冊で、神は決して苦しみを遣わさない。苦しみにあきらめず必死で頑張る。悲しみも喜びも、感動も、落胆も、つねに素直に味わうことが大事だ。なぜかといえ、そこに、次の行動への足がかりもできれば、エネルギーも意欲も生まれるからである」といった言葉に励まされました。営業系と技術系の考え方にギャップがあったと、このように思いに至り、技術者たちと率直に話ができるようになりました。今もしんどいことがあると思えば、この本を本拠とする通信機器会社に転職し、アジア地域のビジネスをめぐってアライオンを本拠とする

アメリカのIT文化 源流は日本的だった  
41歳の時にボストン郊外に本社を置く企業に転職しました。IT分野での成功を象徴する大企業で、ここで働く人たちの源流は何かと探る中で、「IBMの息子」に出会いました。IBMの創業者のジュニアで、同社の2代目社長を継いだ著者が、父親と自身の人生、そしてIBMの歴史を詳細につづった自叙伝です。本書を読むまでは、合理的でドライな経営がアメリカで成功した企業の強みだと考えていましたが、それが根底から覆されました。IBMの成長の陰に、「社員は家族」「全社一丸」「懸命に努力」と

いった、いわばスーパー日本的な思想があったことや、一人のカリスマのトップダウンではなく、ボトムアップを大事にしてきたことなどを知り、目から鱗が落ちました。50歳を前に、サーバーの世界最大手の日本本社役員となりました。就任時に与えられた任務は、巨大になった組織の硬直化をどう防ぐか。参考になったのが、英国海兵隊に学ぶ最強組織のつくり方です。著者は、ビジネス界に転身した元英国海兵隊将校。対ゲリラ戦や対テロリスト戦が起り得る現代は、伝統的な中央集権・絶対服従の軍隊のマネジメントは機能せず、権限委譲型のマネジメントが機能すると、「市場変化が予測困難になり、権限委譲が不可欠となっているのは、ビジネスの世界もまったく同じ」と説きます。確かに、昨日までパトナーだった企業が突如競争相手に転じたり、異業種の企業が新規参入してきたり、事業形態がめまぐるしく変わる時代です。リーダーには、明快なビジョンの提示と現場に任せる器量が不可欠で、このことは今も肝に銘じています。ビジネスに通用する軍隊式マネジメントが、信長の手法と酷似しているという意外な気づきもありました。(談)

# R キヤリアの節目に本があった

【読む】 Reading

昨年から日本オラクルを率い、「2020年までにクラウド事業で国内トップになる」というビジョンを掲げた杉原博茂さん。学生時代は体育会系で、ラグビーや剣道で汗を流したそう。読書に目覚めたのは、アメリカ留学時代。現地で数少ない日本人の友人が読書家で、つられて読むようになりました。以来、読書は心のビタミン剤です。

劉邦から学んだ あきらめない強さ  
出身は大阪で、自宅近くに司馬遷太郎記念館がありました。そのため、司馬作品には特別な親しみがあります。「項羽と劉邦」は、エリートで連戦連勝の項羽と、俠客あがり連戦連敗の劉邦の対比をいきいきと描きます。読んだのは、

アメリカ留学を終え、通信機器の販売などをやる会社の営業部で働き始めた頃。当時の私は、売れないセールスマンでした。劉邦は、何度負けても戦い続け、最終的には項羽に勝利しました。勝因は、あきらめない強い気持ちと、周囲の助言に耳を傾ける勇気です。仕事で負け通しだった私には、沁みる内容でした。断られ続けてもあきらめずに通いつめた会社の社長から、「あなたから買うよ」と言

われた時の喜びとともに思い出します。やがて営業成績は向上し、その後、国際事業部を経て、アメリカ支社の立ち上げを任せられた。会社が投資していた超高速データ通信の技術の製品化と販売が目的で、最初は開発者の自宅のキッチンでオフィス代わりにしていました。現地の技術者を雇ってオフィスを構えると、開発計画などについて現地スタッフと折り合わないことが多く、本社からはそれを責められ、板挟みの状況に苦しみました。そんなある日、尊敬する現地の起業家から「本田宗一郎の本に影響を受けた」という話を聞き、「得手に帆あげて」を読みました。本田さんの情熱「ホンダイズム」がはたはる一冊で、神は決して苦しみを遣わさない。苦しみにあきらめず必死で頑張る。悲しみも喜びも、感動も、落胆も、つねに素直に味わうことが大事だ。なぜかといえ、そこに、次の行動への足がかりもできれば、エネルギーも意欲も生まれるからである」といった言葉に励まされました。営業系と技術系の考え方にギャップがあったと、このように思いに至り、技術者たちと率直に話ができるようになりました。今もしんどいことがあると思えば、この本を本拠とする通信機器会社に転職し、アジア地域のビジネスをめぐってアライオンを本拠とする

ビジネス立ち上げに携わりました。初めて社長職に就き、過去の指導者たちの本に目が行くようになりました。心に残るのは、織田信長の生涯を描いた「下天は夢か」。信長は、四方を敵に囲まれ、身内や譜代の大名から背を向けられる中、大胆な抜擢人事を行い、信賞必罰により家臣間の切磋琢磨を促しました。おのずと有能な人材が育ち、数々の厳しい戦いをものにできた。思えば信長は、バックグラウンドを開かず人材を活用するタイプリーダーは16世紀に実践した人で、そのリーダーシップに圧倒されました。

50歳を前に、サーバーの世界最大手の日本本社役員となりました。就任時に与えられた任務は、巨大になった組織の硬直化をどう防ぐか。参考になったのが、英国海兵隊に学ぶ最強組織のつくり方です。著者は、ビジネス界に転身した元英国海兵隊将校。対ゲリラ戦や対テロリスト戦が起り得る現代は、伝統的な中央集権・絶対服従の軍隊のマネジメントは機能せず、権限委譲型のマネジメントが機能すると、「市場変化が予測困難になり、権限委譲が不可欠となっているのは、ビジネスの世界もまったく同じ」と説きます。確かに、昨日までパトナーだった企業が突如競争相手に転じたり、異業種の企業が新規参入してきたり、事業形態がめまぐるしく変わる時代です。リーダーには、明快なビジョンの提示と現場に任せる器量が不可欠で、このことは今も肝に銘じています。ビジネスに通用する軍隊式マネジメントが、信長の手法と酷似しているという意外な気づきもありました。(談)



**三笠書房** 千代田区飯田橋3-3-1  
TEL: 03-3989-8999  
http://www.mikasashobo.co.jp

6万部突破! **頭は「本の読み方」で磨かれる**

見えてくるものが変わる70冊

頭のいい人は、何を、どう読んでいる?

- 「話のネタ」にしたい本を選ぶ
- 「知的な付加価値」をつける人
- 「積ん読」も、確実に脳の肥やしになる——その理由
- 今、読んでいる本が、「あなたはどのような人間か」を物語る

著者 茂木健一郎

気持を整理すると「いいこと」がいっぱい起こる!

植西 聡

若返りホルモンDHEAが若さを決める! **40代からの 34万部! 太らない体のつくり方**

何を着るかで人生は変わる

ファッションプロデューサー しぎはらひろ子

理想のクローゼットがこの1冊で完成!

発売 たちまち 3万部!

何を着るかで人生は変わる

チャートで診断! おすすめブランド一覧付き

医学博士 満尾 正

A5判 オールカラー/ 定価: 本体552円+税

「1食1食の積み重ね」それが人生なのです。 **12万部突破!**

医学博士 濟陽高穂

**40歳からは 食べ方を 変えなさい!**

「体の糖化」に 気をつければ、若くなる!

A5判 オールカラー/ 定価: 本体590円+税

読者からの声、続々!

- 40歳からは「体に必要な食べ物が変わる」と知り、とても勉強になりました。「30品目の食材を、週に2〜3回食べるだけ」。この食べ方なら、無理なく続けられそうです!(41歳・女性・会社員)
- にんじんは「まるごと若返り栄養素」。トマトは「食べる精力剤」。新しい自分に生まれ変われそうな予感!(38歳・男性・会社員)
- この値段で「オールカラー」&「図解」は正直驚きです! 50歳を超えても若くありたいので、この食べ方を続けます!(53歳・女性・主婦)